

えだまめの品種・作型の組み合わせによる7～9月収穫

野菜グループ 金森健一

えだまめは水田転作作物として斐川町、邑南町、松江市を中心に作付けが拡大しており、地元市場から7～9月の長期出荷が望まれています。しかし、収穫適期が3日程度と短いため、長期出荷には計画的に連続収穫する体系を確立することが課題となっていました。

そこで、えだまめ専用品種「湯上がり娘」と「ゆかた娘」について、播種期と収穫期の関係ならびに各品種の収穫時期別収量を調査し、7～9月の長期出荷体系を組み立てました。

○結果の概要

収穫時期別の適品種および播種期は次のとおりでした（図-1、図-2、表-1）。

（1）7月中旬～8月上旬収穫

「湯上がり娘」は「ゆかた娘」より収穫期が早く、かつ可販収量が高く推移しました。また「ゆかた娘」は草丈が伸びやすく、耐倒伏性に劣っていました。

総合的に判断し、「湯上がり娘」の4月下旬～5月上旬播種が適しています。

（2）8月中旬～下旬収穫

両品種とも可販収量はほぼ同程度となることから、「湯上がり娘」では5月中旬～6月上旬播種、「ゆかた娘」では5月上旬～6月上旬播種が

適しています。

（3）9月上旬～中旬収穫

「ゆかた娘」は「湯上がり娘」より可販収量が多いことから、「ゆかた娘」の6月中旬～7月上旬播種が適しています。

表-1 品種と播種期による長期出荷体系図

品種	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
「湯上がり娘」			○	○							□	□
「ゆかた娘」			○	○	○	○					□	□

凡例 ○ 播種期 □ 収穫期

○まとめ

本結果は、「えだまめ栽培暦（H24年3月作成）」にまとめ、全農、地域普及部を通じて現地へ情報提供されています。

今後は、9月中～下旬収穫品種の選定や島根県オリジナル品種の黒大豆えだまめ「赤名黒姫丸」の高品質栽培方法を検討します。

○活用の留意点

本成果は当センター内圃場（標高20m）での試験結果であり、播種後の気象条件等の影響は考慮していませんので、作付計画を決定する際の目安としてご活用ください。

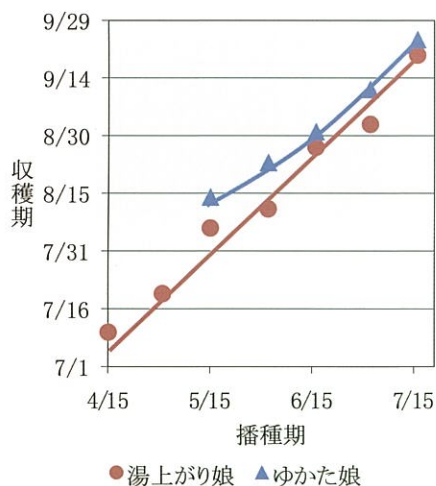


図-1 播種期と収穫期の関係(H22)

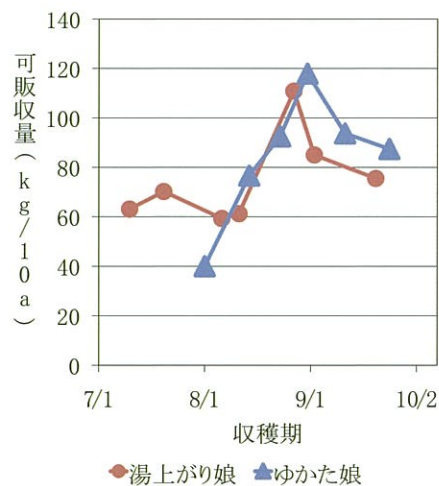


図-2 収穫期と収量の関係(H22)